



鳴鼓小学校

学校便り

令和7年11月号
鳴鼓小学校
校長 下川 太郎

学校教育目標	心豊かで たくましく 心身ともに健やかな 鳴鼓っ子の育成
令和7年度のテーマ	～一人一人のウェルビーイング（幸せ）～ 「楽しい学校」

子どもの心の環境



【児童玄関横のホールの掲示】

左の写真は、本校の児童玄関横ホールの写真です。

児童会の呼びかけで、自分が友達に言われて嬉しかったふわふわ言葉を掲示しているところです。

小学校では、よく「ふわふわ言葉」それから「ちくちく言葉」という表現を使います。

人の欠点や悪口、皮肉（ちくちく言葉）などを言っている環境に育つと、人のあら探しや悪口を平気で言う人になると言います。

一方、人の良いところ、一生懸命にやっていること、やろうとしていることを努めてほめる（ふわふわ言葉）環境では、良いところや良いことを認め、人を尊敬する気持ちが育つと言われています。

親をほめる子になるか、親の悪口を言う子になるか、「ほめたことも、しかったことも、やがてはすべて我が身に返る。」としたら、末恐ろしいことです。子どもの心の環境、言葉の環境の第一は、家庭の人つまり家族です。そして、学校の人つまり先生や友達も環境であると言えるでしょう。

子どもの心の環境を整えるために、家庭でも学校でも、言葉の使い方を意識していきたいものです。

新任者の先生、頑張っています

11月11日に、本校の新任者の先生である4年2組担任の桐 夏菜子教諭が、新任者研修の授業公開を行いました。

国語「ごんぎつね」の授業です。4年2組の子どもたちも、真剣にそして意欲的に学習に取り組んでいました。

登場人物の気持ちの変化と、その変化が教科書のどの記述から分かるのか読み取る授業でした。

授業の準備段階、そして授業後の反省会までに、たくさんの本校職員が関わり、新任者の育成に努めています。

どのような伝え方をすると、自分の思いが新任者の先生に伝わるのか。新任者を育てることを通して、自分自身の学びも感じているところです。

これからも教師としての力をつけていく必要があるのが新任者です。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様の温かい応援をどうぞよろしくお願いいたします。



【国語「ごんぎつね」授業】

時津町読書感想文発表会・イングリッシュスピーチコンテスト



【前田 ひなた さん】



【松山 日虹 さん】



【西村 奏和 さん】



【永富 瑛汰 さん】

10月25日に時津公民館で時津町読書感想文発表会が開催されました。

また、10月30日には、同じく時津公民館でイングリッシュスピーチコンテストが開催されました。

本校からそれぞれの大会に参加した子どもたちは以下の4名になります。

時津町読書感想文発表会

2年2組 前田 ひなた さん

「お金にはかえられないからもの」

5年1組 松山 日虹 さん

「みおちゃんも猫 好きだよね？」

が わたしに伝えてくれたこと

イングリッシュスピーチコンテスト

5年1組 西村 奏和 さん

「Pet Story」

6年1組 永富 瑛汰 さん

「Superwoman」

時津公民館での本番は、講堂でたくさんの方々に見つめられるなかでしたが、4名とも練習の成果を十分に発揮して、それぞれの思いが聞き手にしっかりと伝わる発表でした。

小学生の時から、大きな会場でたくさんの方々に前に自分の考えを発表する経験をする事は、今後の人生にとっておおきな励みになると思います。

4名の発表者の皆さん、本当にお疲れさまでした。カッコ良かったですよ。

米の脱穀・芋ほり

10月23日に4年生が収穫した米の脱穀を、11月13日には2年生が芋ほりを行いました。

いずれも、農業体験講師の小坂さんと左底シニアクラブなづみ会、久留里シニアクラブ万寿会の皆さんの指導をいただきながらの活動でした。

子どもたちは、本物にふれる活動を通して様々な思いを感じることができたようです。小坂様及びシニアクラブの皆様、ご指導ありがとうございます。



【4年生「脱穀」】



【2年生「芋ほり」】

時津町通学路交通安全推進協議会

11月13日に「時津町通学路交通安全推進協議会」に出席してまいりました。この会議は、本校PTA交通指導部の皆さんが、地域の通学路の危険箇所を点検していただいた結果、行政がどのような対応をするのかの報告を受けるものです。鳴鼓小学校では、点検箇所をたくさん出していただき、パンダマークの張替え、危険箇所へのポール設置、路側帯の塗りなおし等子どもたちの通学に危険が生じないような対応ができることになりました。小学校の職員だけではとてもこれだけ広範囲に及ぶ通学路の点検は細かくできません。PTAの皆様の協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。